

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年1月22日(月)～1月23日(火)		
開催時間	22日(11時30分～17時)、23日(9時00分～12時20)		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和5年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」		
講師等の氏名等	①東京大学大学院教授 瀬治山 角氏 ②NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田 昌弘氏 ③神奈川大学特別招聘教授 矢野 康治氏 ④東京女子医科大学 准教授 坂元 春香氏		
内容・結果等	1月22日	開校式	
		【講義】： ジェンダー論で笑って少子高齢化時代を乗り切ろう	
		講 師： 東京大学大学院教授 瀬治山 角氏	
		【講義】： 誰もが役割をもち生きていく「地域共生社会」の実現に向けて	
		講 師： NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事長 池田 昌弘氏	
	1月23日	【講義】： 日本の財政について -不都合な真実を正視する-	
		講 師： 神奈川大学特別招聘教授 矢野 康治氏	
		【講義】： 若者の未婚からみた日本の少子化	
	講 師： 東京女子医科大学 准教授 坂元 春香氏		
上記活動に要した経費	経 費 の 内 容	支 払 先	金 額 (円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金	全国市町村国際文化研究所	6,900
	会費		
	旅費	九州旅客鉄道株式会社	37,560
	振込手数料	佐賀銀行塩田支店	385
	宿泊費	東横イン京都琵琶湖大津	7,980
	合 計		52,825

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年1月22日(月)		
開催時間	13時～14時45分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和5年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」		
講師等の氏名等	東京大学大学院総合文化研究科 国際社会科学専攻 教授 瀬治山 角 氏		
内容・結果等	【講義】： ジェンダー論で笑って少子高齢化社会を乗り切ろう		
	内容：離婚率は26年連続で3割ある。夫の所得が高いほど専業主婦の割合が多い。		
	第一子の出産による女性のキャリアの断絶。男性の家事に係る時間が短いため、女性への負担が多くなる。夫が稼いで妻が専業主婦は高度経済成長期の遺物。今は「荷物」が重すぎる。夫婦2人のアウトプットを最大化するためには、男性も協力して家事・育児をして女性の		
	キャリアアップの機会を損なわないようにする。現代女性は、男性に対して家事・育児の能力と仕事への理解が求められている。		
	まとめ：ジェンダーと少子高齢化のテーマをどのような観点から講義されるのかを期待したが夫婦共働きをした場合、夫の家事・育児に係る時間が少ないために女性の働く機会損失をしていることを述べられていた。また日本の職場環境が子供を育てづらいていると言われた。少子高齢化を乗り切る手段として「みんなが働く社会」→高齢者、主婦、外国人の参画を言われたが、少子高齢化を乗り切るための手段として要点が明確に示されなかった。		
	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
会費			
旅費			
合計		0	

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年1月22日(月)		
開催時間	15時5分～16時35分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和5年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」		
講師等の氏名等	特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田 昌弘 氏		
内容・結果等	【講義】：誰もが役割をもち生きていく「地域共生社会」の実現に向けて		
	内容:地域包括ケアシステムができることで制度・サービスは整ったが地域とのつながり		
	も重要。2015年に介護保険法の改正。生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置。		
	暮らしの中にある「つながり、気かけ、支え合う」地域づくり。健康長寿の秘訣のためには、		
	社会性＝社会参加、社会とのつながりが重要。自治体が主体となって開かれる通いの場、		
	(サロンや介護予防教室)もあるが、それ以外の居場所(自宅や畑)も多様であり支え合いが		
	重要。自発的に集まる場所で役割を奪わないことが重要。		
	まとめ:様々な介護や福祉事業を受けられる体制も必要だと思うが日頃からの近所付き合いや		
	友達付き合いをできることが一番健康で過ごせる条件だと思う。自分をよく知っている人は		
	また、自分も相手をよく知るという事になると思う。講義で支え合いは、過度な迷惑の掛け合いと		
言われたが、お互いさまで支え合っていくことが大切だと感じた。行政でできる役割と			
個人でできることは様々あると思うので地域や個人毎に取組み方は多様だと感じた。			
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年1月23日(火)		
開催時間	9時～10時30分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和5年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」		
講師等の氏名等	神奈川大学特別招聘教授 前財務事務次官 矢野康治 氏		
内容・結果等	【講義】: 日本の財政について 一不都合な真実を正視する一		
	内容: 歳出は社会保障に係る予算が年間7,000億～8,000億増額している。一般会計の税収はバブル以降伸び悩み歳出と歳入の差は公債によって穴埋めされている。国債の残高は、1,000兆円を超えており、日本の国債は多くが日銀や地方銀行などが保有している。低金利政策等でこれまでは利子は少額であったが、今後金利が上昇すれば利子費が大幅に増える。		
	人口動態問題が生み出した財政問題。日本はGDPに対する社会保障費の支出割合が多い。社会保障制度の維持をするためには改革が急務。		
	まとめ: 今後10年間のGDP成長率は3%程度、実質2%の成長率を目標とされており、現在の円安の影響により輸出関連企業の業績は顕著であるが、概ね1.5%～1.8%程度だと思う。		
	経済成長による税収増により財政赤字が縮小すると考えられている面もあるが世界情勢や国内で発生する災害など不確定要素があることも加味しなければならないと思う。		
	大企業と中小企業、都会と地方のギャップも課題として理解しなければならないと思った。		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合計		0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

No.1

嬉野市議会議員

水山 洋輔

開催月日	令和6年1月23日(火)		
開催時間	10時50分～12時20分		
開催場所	滋賀県大津唐崎2丁目13-1		
主催者	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所		
研修会等の名称	令和5年度「第3回市町村議会議員特別セミナー」		
講師等の氏名等	東京女子医科大学 衛生学公衆衛生学講座 准教授 坂元 春香 氏		
内容・結果等	【講義】:若者の未婚からみた日本の少子化		
	内容:国立社会保障・人口問題研究所が実施している出生動向基本調査のデータを基に		
	日本の少子化の原因について学ぶ。最大の要因は50歳未満の生涯未婚率が男性23%、		
	女性14%(2015年)男性の年収が低いほど恋愛や結婚に興味がない割合も増える傾向。		
	男女ともお互いに経済力や安定した雇用がある人は結婚し、そうでない人は未婚のまま。		
	夫婦の所得が多い世帯が子供の数も多い。男女ともに結婚相手には、性格と家事育児の姿勢・		
	能力を求めているが、学歴や経済力も同時に必要と感じている。ギャップがある。		
	まとめ:講義において少子化や未婚は若い世代の価値観変化という事だけではなく、		
	「就職氷河期世代とその後の停滞した社会の犠牲」と表現され考え方の変化や社会構造を		
	変えることが必要と言われていた。仕事や収入を考えると結婚や恋愛に消極的になる事も		
理解ができる。少子化対策として公的な支援を考える必要はあるが、その方向性が本質的な			
ものでないと結果が伴わないと感じる。それぞれの状況に応じた対策の必要性を感じた。			
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	会場費		
	講師謝礼		
	出席者負担金		
	会費		
	旅費		
	合計		0